



2019年5月15日

各 位

会 社 名 日本電子株式会社  
代表者名 代表取締役社長 栗原 権右衛門  
(コード番号 6951 東証第一部)  
問合せ先 経営戦略室長 塩田 将司  
TEL (042)543-1111

## 中期経営計画「Triangle Plan 2022」の策定について

当社グループは、2019年度～2021年度を対象とする新中期経営計画「Triangle Plan 2022」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 【基本方針】

当社グループは、2018年度を最終年度とする中期経営計画「Triangle Plan」(2016年度～2018年度)を策定し、成長の実現に取り組んでまいりました。「Triangle Plan」は、過去の中期経営計画「CHALLENGE 5」(2010年度～2012年度)における事業基盤の強化、並びにその後の中期経営計画「Dynamic Vision」(2013年度～2015年度)における成長戦略へのシフトに続く一連の成長実現に向けた取り組みで、具体的には、これまで推進してまいりました YOKOGUSHI 戦略を背景に、新たに“Speed”、“Difference”、“Change”の3つを更なる成長へのキーワードとして掲げ、成長戦略の深化・具現化により、適正な利益を継続的に創出することができる高収益中堅企業への変革を実現してまいりました。

その結果2018年度には、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全ての項目が過去最高額となり、安定的・持続的に適正な利益を創出することができる中堅企業への変革の実現に向けて一定の成果をあげることができたと考えております。

今般の新中期経営計画「Triangle Plan 2022」は、「CHALLENGE 5」における事業基盤の強化、「Dynamic Vision」での成長戦略へのシフト、「Triangle Plan」での成長戦略の具現化を経て、成長の加速と次の打ち手を実現するための計画となります。具体的には、「Triangle Plan」の方向性を基本としながら、成長の加速と新中期経営計画以降の更なる成長に向けた次の打ち手を実行することで、長期にわたる継続的な成長を実現してまいります。

#### 【基本的な考え方】

2019年度に創立70周年を迎える中「70年目の転進」として以下に取り組んでまいります。

##### 1) コアテクノロジー強化

当社グループが社会に提供する付加価値の源泉であるハイエンドの計測・分析技術(=コアテクノロジー)を継続的に発展させていく。

##### 2) 成長市場への積極参入

コアテクノロジーをベースに、規模が大きく更なる拡大が見込まれる市場(半導体機器/産業機器/バイオ・医用機器/海外)へ積極的に参入し成長を加速させる。

##### 3) トータルソリューションの提供

装置だけではなくユーザーのワークフロー全体を見据え、使い勝手の向上や効率化につながるサービスを含めたトータルソリューションを提供していく。

##### 4) 必要な投資と収益性向上への取組み

事業の規模や範囲が拡大していく中で事業機会を確実に取り込むため、必要な投資をタイムリーに行っていく。同時に効率化を推進し収益性の向上に不断に取り組む。

#### 【数値目標】

2021年度の数値目標として、売上高 1,340 億円、営業利益 99 億円、経常利益 100 億円を掲げました。

	2021 年度目標	2018 年度 実績対比	2018 年度 実績【参考】	2019 年度予想 【参考】
売上高	1,340 億円	+227 億円	1,113 億円	1,190 億円
営業利益 (売上高営業利益率)	99 億円 (7.4%)	+32 億円 (+1.4%)	67 億円 (6.0%)	71 億円 (6.0%)
経常利益 (売上高経常利益率)	100 億円 (7.5%)	+26 億円 (+0.8%)	74 億円 (6.7%)	75 億円 (6.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	68 億円	+9 億円	59 億円	50 億円

また、資本に関する数値目標として、ROEに関しては継続的に10%以上(2018年度実績15.0%)を、自己資本比率に関しては2021年度に40%(2018年度実績33.9%)を目指してまいります。

当社は、「創造と開発」を基本とし、常に世界最高の技術に挑戦し、製品を通じて科学の進歩と社会の発展に貢献することを経営理念としております。創立以来 70 年の歴史の中で蓄積してきた要素技術・ノウハウ・グローバルネットワークを活かし、世界最高クラスの装置を提供する「分析・計測の世界において欠かせない企業」、さらには独自のソリューションと付加価値を提供する Only One Company となることを目指しております。

新中期経営計画「Triangle Plan 2022」への取り組みにより、この理念と、コーポレートメッセージである「Solutions for Innovation」の具現化を強力に推し進めてまいります。

#### 【株主還元】

当社は、財務体質の改善と企業体質の強化に努め、長期的な視野に立って安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。新中期経営計画「Triangle Plan 2022」においても長期的・総合的視野に立った企業体質の強化ならびに今後のより一層の事業展開への備えとして内部留保の充実を図るとともに、安定的かつ継続的に配当を行うことを目指します。

以上